

令和4年度スポーツ庁委託事業

令和4年度「障害者スポーツ推進プロジェクト（地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業）」成果報告書

令和5年3月
NPO 法人スマイルクラブ

本報告書は、スポーツ庁の令和4年度委託事業として、《NPO法人スマイルクラブ》が実施した令和4年度「障害者スポーツ推進プロジェクト（地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業）」の成果を取りまとめたものです。
従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

《ここから事業完了報告の具体的な取り組み等を記載する。》

【本事業概要】

本事業概要 (1)

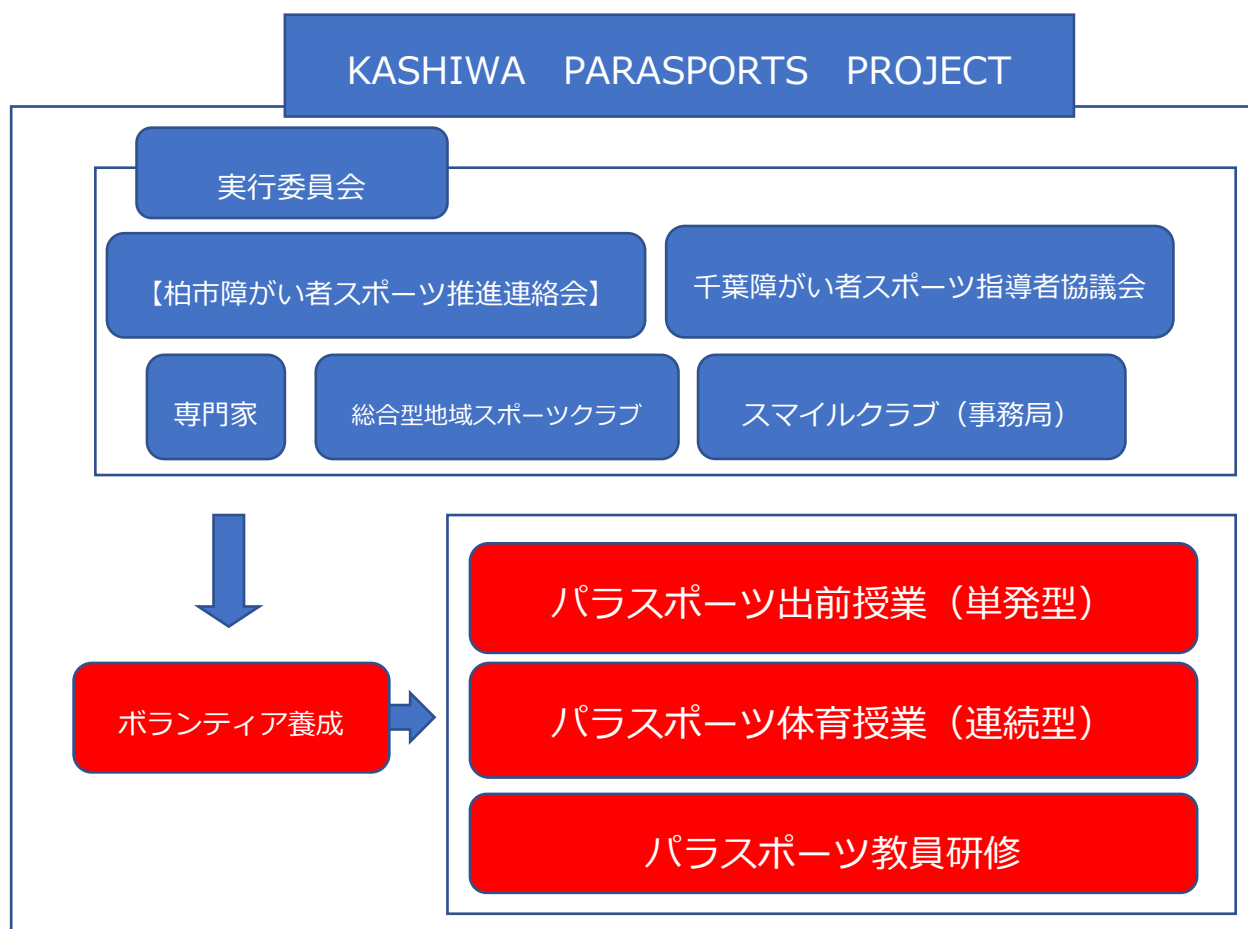
- 1 事業名：令和4年度 障害者スポーツ推進プロジェクト
(地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)
- 2 事業趣旨：
本事業では、柏市（柏市障がい者スポーツ推進連絡会等）と総合型地域スポーツクラブ（NPO 法人スマイルクラブ）が連携し（仮称 柏モデル）、2021年度の連携実績をベースに、障がい者スポーツボランティア等の人材養成から、学校での障がい者スポーツの試行、教員に向けた研修等をおこない、身近な場所で障がい者スポーツを実施できる環境の整備等をおこなうものとする。
- 3 課題について
 - 1) 障がい者スポーツのボランティアの養成
 - ① 内容：
 - ア) 障がい者スポーツボランティアの養成
 - イ) 障がい者スポーツリーダー（ファシリテーター）の養成
 - ② 対象：スポーツ推進委員、障がい者スポーツ指導員、大学生
 - 2) 現職教員に対する障がい者スポーツのノウハウの普及
 - ① 内容：下記2点の開催
 - ア) 教職員に対する障がい者スポーツの研修会の開催
 - イ) パラスポーツの学校体験会の実施
 - ② 対象：主に柏市内公立小中学校の教員および生徒
 - 3) 上記体育授業のための障がい者スポーツ用具類充実（ハード面）
内容：競技用車いす整備（学校保管用）
- 4 具体的な目標について
 - 1) 障がい者スポーツのボランティア育成についての
 - ① 目標人数 30人・目標達成率75%以上（23人以上）
 - ② ボランティア育成のマニュアル化による自走化準備（継続体制の確立）
 - 2) 現職教員に対する障がい者スポーツのノウハウの普及について
 - ① パラスポーツ教室参加人数 490人の達成
体験教室 1回 50人×5校=250人（コロナのため1回50人）
体育授業 1回 30人×延べ8回=240人 計490人
 - ② 参加生徒の満足度75%以上（アンケート実施）
 - ③ 教員対象の研修参加者数 10人×2校=20人
 - ④ 参加教員の満足度75%以上
 - ⑤ 自走化に向けてのマニュアルづくり
 - 3) 障がい者スポーツ用具類の充実・・・購入台数5台
- 5 実行委員会委員メンバー ※敬称略、順不同
 - 1) 柏市障がい者スポーツ推進連絡会 数名
(柏市スポーツ課、障害福祉課、社会福祉協議会、柏市スポーツ推進委員等)
 - 2) NPO 法人スマイルクラブ理事長大浜あつ子（上記連絡会の会長も兼務）
 - 3) 千葉障がい者スポーツ指導者協議会理事 中島一郎
 - 4) 日本福祉大学准教授 兒玉友
 - 5) 千葉大学准教授 谷藤千香
 - 6) NPO 法人スマイルクラブ 大浜真（パラバドミントン選手）
 - 7) 事務局責任者 大浜三平（NPO 法人スマイルクラブ）

【全体イメージ図】

1 目的

本事業では、障がい者の継続的なスポーツの実施促進に向けて、各地域における課題に対応して、障がい者スポーツの振興体制の強化、身近な場所でスポーツを実施できる環境の整備等を図ることを目的とする。

2 イメージ図



3 本事業実績のまとめ（目標と達成率）

内容 1	内容 2	目標	実績	達成率 (%)
ボランティア 養成	スポーツ推進委員等	30人	22人	—
	大学生への研修		20人	
ボランティア養成 計		30人	42人	140%
現職教員に対する障がい者 スポーツの ノウハウの 普及	パラスポーツ体験教室 (出前授業) (50人×5校)	250人	841人	336%
	パラスポーツ体育授業 (同上) (1回30人×延8回)	延べ 240人	延べ 428人	178%
	上記 計	延べ 490人	延べ 1,269人	258%
	参加生徒の満足度	75% 以上	95% 以上	126%
	教員対象パラスポーツ研修	40人	85人	212%
講師	小倉理恵（東京パラリンピック出場） 大浜真（2019年世界選手権出場）			

パラバドミントン講師紹介（順不同、敬称略）



小倉理恵
東京パラリンピック出場
パラバドミントン WH2



大浜真
2019年世界選手権出場（スイス）
パラバドミントン WH1

4 本事業のまとめ

【成果（新たな成果）】

- 1) 単発型から連続型への授業の新たな展開（柏市立酒井根小学校で実施）、今までの1回のみ体験から、授業として4回連続シリーズとして開催
- 2) 特別支援学級（障がい児対象）での新規開催（柏市立第三小学校で開催）
- 3) 教員向け研修会の開催（2回）
- 4) 満足度 95%の達成
- 5) ボランティアの多大なる協力（延べ133人）
- 6) 柏市障がい者スポーツ推進連絡会を中心としたネットワークの充実（柏モデル）
- 7) 参加者全員が競技用車いすを体験できる、新たなパラスポーツモデルの構築
- 8) 保護者や地域との連携によるボランティア協力体制の構築

【課題（次回に向けて）】

- 1) 連続型への継続（4回連続シリーズ）
- 2) 特別支援学級へのさらなる対応（ボランティア研修含む）
- 3) インクルーシブ大会等への試行（本事業の成果としてのミニ大会等の開催）
- 4) 教員を含めた研修会の充実
- 5) 柏モデルにおける、さらなるネットワークの構築

5 本事業の紹介

1) 「ボランティア養成研修会」の開催

① 柏市内での養成研修会（2022年8月13日 沼南体育館）



柏市等のスポーツ推進委員やボランティア登録者等が集まり、競技用車いすの組み立てから乗車してのバドミントンまでの一貫した研修をおこないました！

② 流通経済大学養成研修会（2022年10月5日 大学体育館）



流通済大学でボランティア研修をおこないました。写真は競技用車いすの組み立ての実習の様子！

2) パラバドミントン出前授業風景

柏市立酒井根小学校（2020年9月26日等4回開催）



今回の授業で初めて、授業として連続4回をおこないました！

柏市立柏第三小学校（2022年10月2日）



今回の事業で、初めて特別支援学級の生徒を対象に開催しました！

3) 新たな保護者や地域との連携による協力体制の確立

千葉県四街道市立四和小学校（2022年11月24日）



PTAの皆さん方に、協力いただきました！このような協力体制は今後の新たな連携モデルとしての大きな可能性を感じました！

千葉県四街道市立四和小学校（2022年11月24日）



特に PTA 会長の作田麻子様と、教頭 桃木一先生にはお世話になりました！

4) 新たな教員対象パラスポーツ研修

千葉県立栄特別支援学校（2022年11月21日）



特別支援学校のほとんどの教員が参加し、パラバドミントンについて学びました！

千葉県四街道市立四和小学校（2022年11月24日）



教員が実際に競技用車いすに乗って、パラバドミンントンの体験をおこないました！ほかにボッチャも体験！

5) 参加者アンケート

アンケート回収率 86.7% 回収数 792 人/ 対象数 913 人

① パラバドミントン出前授業の感想について

	とても		少し		あまり		ぜんぜん		合計 (人)
	人	%	人	%	人	%	人	%	
①楽しかったですか？	755	95%	36	5%	1	0.1%	0	0%	792
②またやってみたいですか？	702	89%	83	10%	7	1%	0	0%	792
③講師の教え方はわかりやすかったですか？	718	91%	72	9%	2	0.3%	0	0%	792
④学校の授業でもやりたいですか？	666	84%	108	14%	16	2%	2	0.3%	792

満足度 95%以上、リピート希望 89%、授業希望 84%以上